

作成日 2024 年 10 月 4 日
(最終更新日 2024 年 10 月 28 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：くも膜下出血後の脳血管攣縮治療に対するクラゾセンタンの治療成績

1. 研究の対象

2020 年 4 月から 2024 年 10 月にくも膜下出血治療を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日 (変更申請後は初回承認日記載) ~2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 12 月 1 日

提供開始(予定)日：2024 年 12 月 1 日

4. 研究目的

くも膜下出血後の脳血管攣縮に対するクラゾセンタンの有用性について検証する。

5. 研究方法

くも膜下出血の治療を受けられた方の診療録と画像データを症例報告として収集して、クラゾセンタン使用例と非使用例の治療成績を比較する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、生年月、性別、重症度、併用薬、血液検査所見、画像所見、神経所見、病歴、治療歴、退院時神経所見 等

7. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、当施設および共同研究機関からの情報を当施設で収集し、共同研究機関に提供します。情報の授受は記録媒体、郵送等にて行います。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

日立総合病院 山崎友郷

水戸医療センター 丸山沙彩

獨協医科大学 池田剛

獨協医科大学埼玉医療センター 滝川知司

10. 利益相反 (企業等との利害関係) について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 脳卒中科 担当 伊藤嘉朗
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：029-853-3220 平日 9～17 時

当院の研究責任者：筑波大学附属病院 脳卒中科 伊藤嘉朗

研究代表者：筑波大学附属病院 脳卒中科 伊藤嘉朗